

港区

出典：国土数値情報及び基盤地図情報
(国土地理院)各種データを加工
東京都通称道路名地図(東京都建設局)



区内の復興小公園は、桜田公園、南桜公園ともに現在も供用しており、いずれの公園も隣接する小学校は統廃合によりその役割を終えている。

桜田公園に隣接する桜田小学校は生涯学習センターに用途が変更され、桜田公園とともに地域住民が憩い学ぶ場として、復興小公園の特色を引き継いでいる。一方の南桜公園は、桜小学校の廃校に伴い校地を利用して公園が拡張されており、これは復興小公園の中で唯一の事例となっている。

南桜公園の拡張に伴い、広場機能の強化とともに、かまどスツールや仮設トイレ(スツール型・マンホール型)、防災井戸、非常用土のうなどの防災施設の充実を図り、またサクラを広場周囲に配し、サクラの名所として地域に親しまれている。

廃校となった桜小学校の二宮尊徳像や石碑、石段等は公園各所に移設して残されている。



IV 休 広 ス モ ト 井 照 他

1 南桜公園

隣接する桜小学校の廃校に伴い、校地を利用して公園が拡張された。校庭の樹木を残し、二宮尊徳像や石碑、石段等を移設している。サクラの名所として地域に親しまれ、遊具のほか、かまどや仮設トイレとなるスツールや防災井戸等の防災施設が設置されている。

● 5,219 m² ● 1929年開設 ● 西新橋2-10-13



かまどスツール



仮設トイレ(スツール型・マンホール型)



解説板



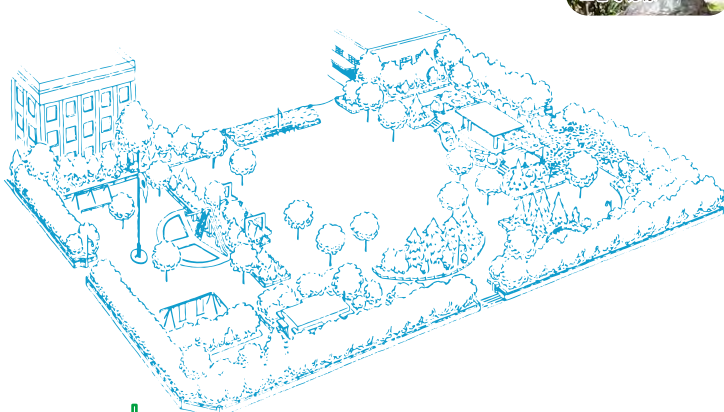
防災井戸



非常用土のう



雨水循環システム



開設当初の公園鳥瞰図(南桜公園)
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



IV 休 広 ス モ ト 井 照 他

2 桜田公園

隣接する桜田小学校の廃校に伴い、校庭が公園と一体化された。遊具コーナーとトラックフィールドから構成され、平日は近隣事業者の憩いの場として賑わっている。緊急用土のうが備わっている。

● 2,671 m² ● 1931年開設 ● 新橋3-16-15